

お知らせ

◆ 受洗

95.12.24
メリー・クリスティーナ石井 麻莉奈 95.12.8生

◆ 転入

二俣川教会より
アンセルモ 竹内 廣治
アンナ 洋子
マリア・ヨハンナ 暁子(アキコ)
泉区和泉町3926-35 (045)803-1411
セシリア 小林 攝子(セツコ)
同上住所 (045)801-3106

ミサ 当番表 (96年1月、2月)

月/日	主日	朗読、奉納	備考	オルガン
1/7	主の公現	井上	壮年会	森田
1/14	年間第二主日	青年会	青年会	大宮
1/21	年間第三主日	婦人会 D地区	婦人会	岩淵
1/28	年間第四主日	橋	壮年会	石川
2/4	年間第五主日	山田	壮年会	森田
2/11	年間第六主日	青年会	青年会	大宮
2/18	年間第七主日	婦人会 A地区	婦人会	岩淵
2/25	四旬節第一主日	清水	壮年会	石川

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典務委員までお申し出下さい。(萩原: Tel 802-6258)

編集後記

あけましておめでとうございます。引き続き二年間広報委員をおおせつかりました。宜しくお願ひ致します。

昨年は世紀末を思わせるような事件が続きましたが、今年は物事が始まる子年、心機一転きつと良い年になるだろうと思っています。

今年も皆様の積極的なご投稿をお待ち申し上げます。短歌、俳句、紀行文、論文、随想、コラム、etc. 何でも大歓迎いたします。

私も皆様のご健康をお祈りしつつ、長寿の秘訣などをご披露致します・・・

『長寿の心得』

七十歳でお迎えが来たときは
八十歳でお迎えが来たときは
九十歳でお迎えが来たときは
百歳でお迎えが来たときは

ただいま留守と言いなさい。
まだ早いと言いなさい。
そう急がずともよいと言いなさい。
頃をみて こちらからぼつぼつ行くといいなさい。
(伊豆の某茶店の壁掛けより)

(E. I.)

今月の予定

元旦ミサ 1月1日
委員会 1月7日
壮/婦新年会 1月14日
信徒総会 1月28日
レジオ 1月19,26日



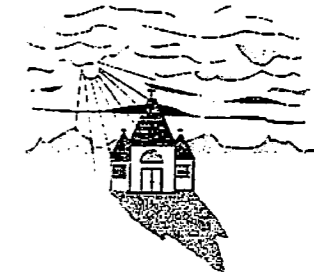
第210回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1996年 1月7日



明日への反省 (上)

山崎 正俊



①

◎ キリスト・イエズスさまに信頼を寄せて生きようとしている者は、その受けているものを十分に活用できるようにする豊かさを身につけることによって、なおのことすぐれたものとなれるからには、あたりまえであるけれども、それが他のものに仕えるのには欠くことのできない大切なものとなることを知っていなければならない。だから、奉仕する者に徹するためには、他の人に受け入れられやすいものとして、傲慢心などひけらかすことをさしひかえ、聖パウロにならう者としての生き方や考え方にしたい。その魂の救いに役立てば、主が私にそうさせてくださったことを喜び、自分のアヤマチと足らなさには反省し赦しをねがい、償いを心掛ける者でありつづけたい。

◎ 教会奉仕者や聖体奉仕者という役務を与えられたお方があって、いろいろと悪口を云われたり嫌われたりしながらも、それに耐えておられるそう。教会は新しい時代の困難に応じようとしてのことであろうが、その洗礼のときに受けると考えられる使徒職の一部を思い出して、すべての信徒が信徒である限りは、その始めの時代のことを想像して思い出される責任を、いま新たに積極的に意識したほうがよいのだからには、司祭自身も同じ信徒であり、共労者であることを忘れておったことを改めねばならず、信仰に生きる者としてお互いに助け合い補い合う者であることからははずれず、かえって「足を引っ張る者」「妨げをする者」に

なりさがらないようにできないとは、どうしたことか。他方で、そのようなことは司祭まかせにすればよいなどの習慣をとって、信徒すべての「なすべきこと」ということを忘れ、司祭も神に生命を与えられた者であるから、同じように社会の出来事に就いての関心を持ってよいのに、それをヨケイのことでもあるかのように信じこまされているのは、奇妙なことである。

◎ これらの役務が実際にまかされるに当たって、数百年もの間にわたっておこたられっぱなしの誤りがまかりとおっていたために、いま何故にそのようなことが云われはじめるのかという不満などを、納得させるための再教育がはじめられることになったのに、多くの司祭自身にさえも、これまでの思い違いの深さを薄めさせる必要性さえあるので、それまでの地位や権威の上下や優劣からはじめて、イエズスさまが教えておられた頃のように、建てられはじめた教会のなかにおいての使徒たちの受けた仕付けに準じた再教育が大切になる。したがって、いまの司祭たちが他の信徒たちと異なった固有の役割があるとするなら、ミサとかゆるしの秘跡などとか、他の信徒たちが迷い出ることを引きもどしたり思い違いを正したり、愛の精神によって「お互いに仲良く生きる者」の模範であることに徹することぐらいのことではないかと思ってもよいのだとか、私は考えはじめています。

囁きと息吹の挟間で



石井 三雄

男の一日は、朝に目覚めてから食事をして、通勤電車で揺られながら出社して、会社に於いて会議、打ち合わせ、はたまた外出して顧客の挨拶に赴き、かなり早い時間なら再び帰社し、ちょうどいい時間かな?、と思えばノーリターンで帰宅し、風呂に入り、夕飯を食して、テレビを観るか、寝酒を飲みながら音楽を聴くかして時間が来れば就寝となる。

これが普段の行事の内訳であるが、これに家内との会話と、祈りの時間があるが、このふたつは大変短い。特に祈りの時間は極めて少ない。

しかしこのふたつは無くはなく、間違い無く存在している。けれど、さらにこの男の場合、平々凡々、つつがなく生活を送っているとき、他の事柄に費やす時間が増加し、このふたつに関わる時間との割合がさらに減少するのである。

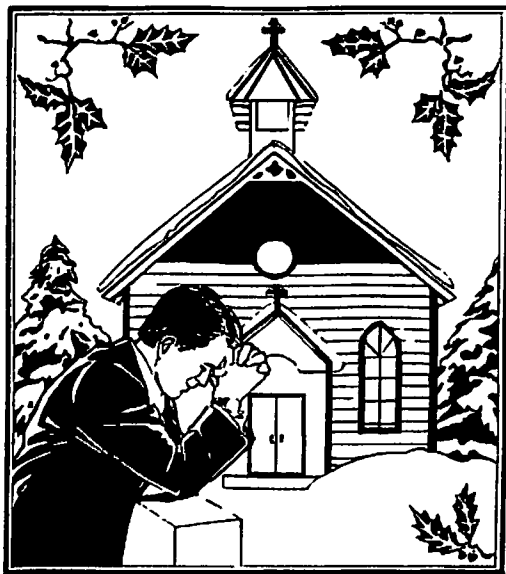
またこのような環境での生活を通して、「ささやき」と「息吹」のふたつの出現率を比較したとき、前者が圧倒的で、そしてそれに従う場合もやはり圧倒的に大である。

しかし、日曜日は違ってくる。この「ささやき」と「息吹」が拮抗するのである。

否、「息吹」が優勢になる時期があるのである。年に数回ある。(このようなことに見栄をきることは無いと思うが。)それも間違いなく言えることは、復活祭および降誕祭の各々の時期である。

その時期は、生活の内の「なにか」を犠牲にすることによって特殊なバリエーションが出来て悪魔の「囁き」は跳ね返すが、神の「息吹」は通り抜けてくるベールで包まれているのかも知れないと、男は思い込んでいる。

もっともこのベールは完全なものでなく、「囁き」が、どさくさに紛れて時々侵入してくるほどの代物であるが・・・



また、男は「なにか」を犠牲にすることを順境の時はほとんど意識しないで日常生活を送っている事、逆境のときになって改めてその「なにか」を思い出し、神を身近な存在と意識しだす事をこれまでの体験を通して経験していた。

近頃、男は復活祭と降誕祭の時期以外で、周囲の環境によって自分自身の心が「なにか」を意識しだしている事に、複雑な心境になっている。しかしこのお陰で家内と孫達との対話と、祈りの時間が多少は増えたのではないかと感じている。複雑な心境に変わりはないが。

委員会だより

<12月10日(日) 11名出席>

[1] 財務報告:

- ・11月度決算報告(福島さん) — 委員会了承。
- ・会計袋(月定献金の封筒)の取扱い:
現在、金額は袋の中のカードに記載されているが、事務処理上不便であり、封筒の裏に記載することに改める。

[2] お知らせコーナー:

- (1) 公用書式変更に伴う信徒台帳の記載変更を完了、11/23に神父様に引き渡した(清水さん)。
- (2) 位田裕子さんより、もみの木を寄贈頂いた(11/26)。(故位田義男氏が、生前気にしておられた木。)
- (3) 年末大掃除: 壮年会、婦人会共に12/16 10:00amより行う。
- (4) 12/24ご降誕のミサ後のパーティ: 予算は¥70,000であったが、一般会計より¥80,000、壮年会、婦人会より各々¥10,000の計¥100,000で実施。

[3] お話し合いコーナー:

- (1) クリスマス飾り付け用モール新規購入:
青年会より申し入れがあり、これを許可した。(清水さん、花坂さん; 約¥10,000)
- (2) 教会入り口照明(外灯)とお聖堂内照明の修理: 花坂さんより説明あり。しめて¥182,000であり、財源は信徒会会計に求めることとした。
- (3) 市下水道工事が進んでおり、教会まで間近。資金繰りは建設会計にて行う。
- (4) 横浜教区社会福祉基金への対応:
「愛の献金」に一項目増やす形で対応。待降節の時期に行うこととする(¥40,000+α)。
- (5) 「聖歌の集い」打合せの報告(石井さん):
1996年は、2月18日に鍛冶ヶ谷教会にて開催する。参加費は、¥500×人数+団体参加費。合計で、150名位集まって欲しいとのことで、中和田も多数の参加が要請されている(例年15名位参加)。
- (6) その他:
宣教司牧協議会からのアンケートあり。別途対処。(甲斐さん)

以上



壮年会だより

<12月17日(日) 12名出席>

- (1) 12/16(土)大掃除、お疲れさまでした。
・外灯2カ所設けた。
・教会内の電球を取り替えた。
- (2) クリスマスの準備(12/14)
18時に集合し、テーブル等事前準備
壮年会より¥10,000をパーティーに寄付。
子供用のケーキを50ヶ用意する。当日18時30分に着くよう手配。
- (3) 96年度の教会委員推薦の件
本来壮年会会長が委員選考に当たるが、当人が教会委員を兼ねているため、壮年会副会長の橋さんに委員選考をお願いすることとした。
- (4) 96年度の壮年会新年会
96.1.21(日)9時ミサ後
役員で新年会の内容を決め、別途報告する。
- (5) 消防隊の講習会: 今回はパスする。
- (6) 一粒会小谷委員より邦人司祭に関する報告
以上。

婦人会だより

<12月17日(日) 32名出席>



- (1) 委員会報告
- (2) 神父様へのクリスマスプレゼント
図書券(¥5,000)を差し上げました。
- (3) 特別会計より寄付
内訳・フマニタス ¥10,000
・いのちの電話 ¥10,000
・カニタ村 ¥10,000
・カリタス ¥20,000
- (4) 新役員紹介(平成8年度)
会長 巢田 初恵 (クリスティアナ)
副会長 富田 ヒサ子(カタリナ)
書記 中島 喜美子(マリアクララ)
会計 山本 照子 (マリアアンナ)
" 山田 康子 (ヴェルナデッタ)
典礼 島倉 文江 (マリア マグダレナ)
" 甲斐 ミヨ子(デェンマ ガルガニー)
以上の皆様です。会員の御協力をお願いします。
- (5) 一年間を振り返って
十字架を背負うということは、自分の為ではなく他人の為である。その時を与えられたことを、神様と皆様に感謝致します。
以上。